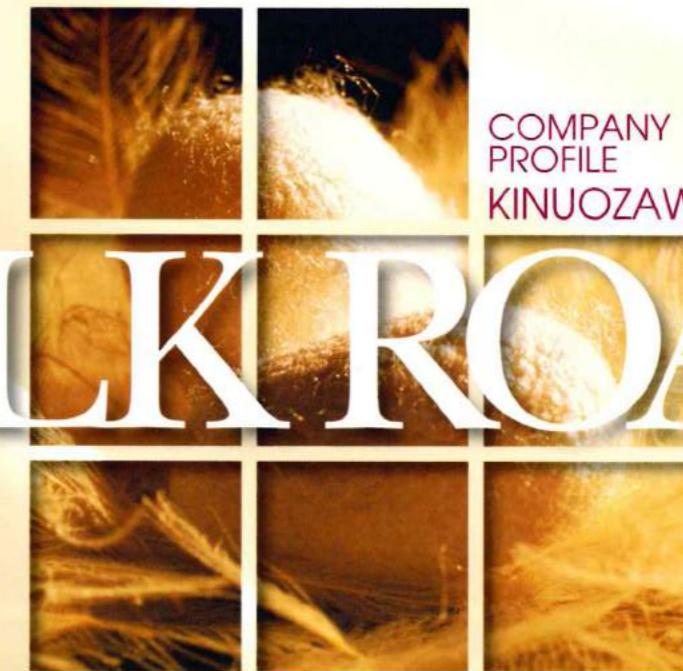




SILK ROAD

絹小沢株式会社

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町3-5-3 電話027-361-2311 FAX027-362-6860



COMPANY
PROFILE
KINUOZAWA

SILK ROAD



絹小沢株式会社

日本の産業革命が始まった
富岡製糸場の地で『絹小沢』は
明治6年の創業以来、一貫して
裏絹を見つめ続けてまいりました。

明治維新で富国強兵策を推進することになった当時の日本にとって、主要な輸出品が生糸でした。そこで明治5年（1872年）、日本で最初の官営製糸工場として開設されたのが富岡製糸工場です。最新式の製糸器械が導入された工場は、当時の世界最大規模を誇るもので、ここから日本の産業革命が始まったといっても過言ではありません。私たち絹小沢は、そうした富岡製糸場と軌を一にするよう翌年の明治6年に創業いたしました。以来、一貫して裏絹を見つけて続けています。

（富岡製糸場・アーチ状ガラス窓）建物は、フランスの技術を日本の風土に合わせて改良し、木造建築とヨーロッパのレンガ造りを取り入れた「木骨レンガ造り」になっていて、アーチ状に積まれたレンガの窓が当時を偲ばせます。

全国一の養蚕県である
地域性を踏まえ
日本全国に向け、特徴のある
シルク製品を発信しています。

富岡製糸場の伝統が息づく群馬県は、全国一の養蚕県でもあります。この地域特性を踏まえ、产地群馬の裏絹卸商社として地位を確立してきたのが絹小沢です。中国から安価な生糸や絹製品が輸入されるなど競争が厳しくなっている今日の絹業界において、県や研究機関、養蚕農家、製糸・製織・染加工の各業者とのコラボレーションで高品質の群馬県オリジナル蚕品種を使った製品開発に注力。日本全国はもとより世界に向け、特徴あるシルク製品を発信しています。



（絹小沢）幾世代にもわたって受け継がれてきた日本の絹文化を後世へと伝えるため、伝統の技とたゆまぬ創造で新しい絹の美をプレゼンテーションしていきます。

錦絵：資料提供－群馬県立日本絹の里

（富岡製糸場）明治5年、近代化のために日本で最初に開設された製糸場。緯糸場や東・西倉庫、事務棟、ブリューナ館等の主要建物は、操業当時のまま良好に保存されていて世界遺産の登録暫定リスト入りを果たしています。

（碓氷製糸）大規模の製糸工場としては、日本で唯一の組合製糸です。上毛三山の一つ妙義山の荒々しい岩肌がせまり、碓氷川の清流のほとり、糸づくりには最適の環境です。



（桑の葉）中山間地に自生する雌雄異株の落葉高木で、その葉が蚕の飼料となっていることから日本では地図記号になるほど桑畠は良くある風景でした。最近では、ビタミンやミネラル、食物繊維も非常に豊富であることから健康食品としても注目されています。



「繭と生糸は日本一」と郷土かるたに詠まれる
KINU OZAWA CORPORATION ORIGINAL SILK BRAND
群馬が誇る繭と生糸にこだわった商品開発

養蚕、製糸、製織、染加工、販売までの
垂直連携でオリジナル商品を開発

世紀二一

古来より絹製品は、貴重な奢侈品として遠隔地交易の対象となりシルクロードを伝って遠くヨーロッパまで運ばれていました。日本でも1200年よりも前に、「あしきぬ」が上野の国(現・群馬県)より朝廷に貢献されたと伝えられています。こうした幾世代にもわたって受け継がれた絹文化を未来に継承すべく絹小沢では、群馬県が開発したどこにも真似できないオリジナル蚕品種の高品質な生糸を使った商品づくりを展開しています。

新小石丸

日本のシルク業界は、中国をはじめとした海外からの安い生糸や絹製品の輸入で厳しい状況にあるのは間違いません。しかし、こうした状況に価格で対抗しても行き詰るのは目に見えています。価格にとらわれない独自の価値ある商品を開発・提供していくことが、日本の貴重な絹文化を後世へと受け継いでいくキーポイントになると考えています。

その点、当社が本社を置く群馬県は恵まれた環境にあります。日本一の養蚕県として培ってきた蚕への愛情や技術力から、染色性や加工性に優れた「新小石丸」

「世紀二一」「ぐんま200」「ぐんま黄金」「上州絹星」といった群馬県独自のオリジナル蚕品種が次々に誕生。皆様に純国産生糸の高品質商品を提供する基盤となりました。また、当社では恵まれた環境を最大限に活かすために、養蚕から製糸・製織・染加工、販売まで業界の川上から川下までを垂直連携した『日本蚕糸絹業開発協同組合』を設立。群馬県のオリジナル蚕品種による商品開発はもちろん、国産生糸100%の商品であることを証明する『純日本の絹』マークの品質表示を進めています。

「新小石丸」ものがたり

契約農家で飼育される「新小石丸」品種の蚕は、管理の行き届いた桑の葉を食べ、生まれたときの1万倍の大きさに成長。回転まぶしの中で、繭になります。作られた繭は、人の手で丁寧に回転まぶしから外され、碓氷製糸農業協同組合の製糸工場に運ばれます。



皇居御養蚕所で飼育している蚕品種「小石丸」を交配により操糸しやすくした「新小石丸」の白生地が、どのように誕生しているのかを紹介します。

製糸工場では、選りすぐられた繭だけを煮繭し、碓氷川の清流を使って数個の繭からほぐれた糸を抱き合わせ1本の生糸にします(縁糸)。そして濡れたままの生糸は、乾燥させながら巻き取り返しを行い、厳しい品質検査を受けた後、織物工場へ出荷されます。

製糸された生糸は、糸に強い擦りをかけ独自の風合いを生み出す撚糸や、熟練の技で織る織織、セリシンや汚れなどを煮沸によって落とす精練、脱水・乾燥・仕上げ・検品を経て製品となり、当社を通して皆様の元に届けられます。



胴裏絹



◆新小石丸胴裏絹
群馬のブランド生糸「新小石丸」を縫糸に、経糸には同じく「ぐんま200」を使用し製織。絹本来の光沢が損なわれないように、低温・短時間で処理する酵素精練法により加工した高品質の裏絹です。

◆世紀21胴裏絹
群馬のブランド生糸「世紀二一」を100%使用し製織。数々の複合的シルクケア機能をもつバーリー加工を施した高品質の裏絹です。

◆絹の花胴裏絹
群馬のブランド生糸「ぐんま黄金」を縫糸に、経糸には同じく「ぐんま200」を使用し製織。絹本来

の艶と優雅な感触を保つ、古来から伝わる伝統的技法の灰汁浸け加工を施した高品質の裏絹です。

◆ぐんま200胴裏絹
群馬のブランド生糸「ぐんま200」を100%使用し製織。トルマリン加工、灰汁浸け加工、酸素練加工の3種類のバリエーションからなる、自然の白さが特徴の裏絹です。

◆群馬羽二重レピア胴裏絹
群馬県産純国産糸を100%使用し製織。公的機関 財団法人 日本織維製品品質技術センター(略称QTEC)の指導により厳正に検査された裏絹です。

※この他、さまざまな胴裏絹を扱っています。

◆まゆの花 世紀21長襦袢地
群馬のブランド生糸「世紀二一」を100%使用し製織した、しなやかな風合いと気品のある究極の長襦袢地です。お肌の衛生と健康に効果があるアロエ・キトサン加工を施してあり、冬物と夏物があります。

◆テフロン加工胴裏絹
優しい絹の風合いをそのまま残し、テフロン加工により水・油・飲料水等の汚れを寄せ付けない数々の超・安心効果がある裏絹です。

◆テフロン加工長襦袢地
快適保護効果が大きい、安心と信頼が売りの長襦袢地です。

◆新小石丸 白生地
群馬のブランド生糸「新小石丸」を100%使用し製織した白生地です。冬物と夏物があります。

※この他、ウォッシャブル、変わり織、絞り、しやれもの等さまざまな種類の長襦袢地を扱っています。

※この他、さまざまな紋付地セットを扱っています。



紋付地



羽裏地



八掛地



祝着



○熨斗目(男)
○一つ身(女)

その他

- 居敷当
- 半襟
- 黒共名古屋帯
- 京袋帯
- 帯芯(絹・綿・和紙)
- 紋付小物セット

※その他、関連商品多数取り扱っています。

1世紀以上におよぶ歴史のなかで裏絹業者としての確固たる地位を確立した絹小沢は、主力の胴裏絹をはじめ、長襦袢地や紋付地、羽裏地、八掛け地、祝着、さらには和装関連商品の各分野で、群馬県のブランド生糸を100%使用した最高級品からノンホルマリンの安全性に配慮した商品、お手頃の価格の普及品まで幅広くラインナップ。専門商社として、お客様のあらゆるニーズに応えています。

専門商社として純国產生糸100%の最高級品から お手頃価格の普及品まで幅広い商品をラインナップ。